

(2) 沢田地区まちづくり計画

○ 地区の概要・特性

沢田地区は、石川町の西部に位置し、阿武隈川と社川に挟まれた比較的平坦な地域です。

地区面積は、14.9 km²、このうち58%が農地で、稲作はもとより、野菜、果樹などが栽培され、特にりんご、なしなどは品質も良く首都圏等へ出荷されています。

また、自然も豊かで、白鳥が毎年飛来する白鳥池や那須連峰をはじめとした遠くの山々の眺望など素晴らしい景観を誇っています。

さらに、大壇古墳群、鳥内遺跡など数多くの文化財があるほか天道念仏などの伝統行事も継承されています。

○ 地区の現状と課題

- ・近年、住民個々のライフスタイルの変化により、人と人とのつながりが薄れてきているため、住民同士の「連帯」や「和」を大切にしたい地域づくりが求められています。
- ・高齢者が元気でいきいきと安心して暮らせるように、見守りや生きがいづくりの創出が必要です。
- ・地区には、史跡や伝統文化などが数多く残っているので、子どもたちに体験学習の機会を持たせることが必要です。
- ・より良い地域資源を発掘し活用することが必要です。
- ・若者が地域に誇りを持って暮らせる地域づくりを目指す必要があります。
- ・道路の改修など生活基盤の整備が必要です。

○ 事業計画

〔計画1〕 ふるさとの景観づくり

〔目的〕

- ・ 地区内の良好な景観づくりを一層進めるとともに、この運動に住民がこぞって取り組むことで、住民同士の連帯と誇りを高めていきます。

〔取組内容〕

- ・ 花苗等の植栽 ・ 景観コンテスト ・ 写真展

〔計画2〕 特産物を生かした交流の輪づくり

〔目的〕

- ・ 野菜、果物の産地としての特性を活かし、食や農をテーマとしたイベントの開催や高齢者や子どもを含めた多世代交流を通し、地産地消や食育を普及しながら地域の活性化を進めます。

〔取組内容〕

- ・ イベントの際の臨時直売による高齢者の生きがい創出
- ・ 地区内料理腕自慢による地産地消や食育の普及

〔計画3〕 歴史や自然に親しみ地域の誇りを育む

〔目的〕

- ・ 住民や子どもたちに、地区の歴史や文化を学べる機会を設け、地域への理解を深めるとともに、次の世代へ残すべき伝統文化の確実な伝承を行います。
- また、四季折々のすばらしい自然に親しむことで、地域資源の保全を図る一方、新たな資源の発掘と活用を進めます。

〔取組内容〕

- ・ 歴史講座や史跡探訪会の開催と講師の養成
- ・ 史跡、伝統行事等の紹介やパンフレットづくり
- ・ 史跡や自然の保存保護活動及び新たな地域資源の発掘活動
- ・ 学校と連携した次代のひとづくり